

JPDA 3月定例理事会議事録

日 時：令和2年3月11日（水）午後1時00分～午後3時15分

場 所：文京シビックセンター(区民会議室) 5階 会議室C

東京メトロ丸ノ内線・南北線「後樂園」駅前

出席者：理事24名中18名（伊藤 透、井上 聡、加藤芳夫、牛島志津子、江藤正典、
小川裕子、小川 亮、 加藤（桑）和美、 鈴木智晴、高田知之、竹内清高、
中越 出、中森恭平、永田麻美、三原美奈子、森 孝幹、八木勇達、山崎 茂）

監事2名中1名（時田秀久）

欠席届7名（青木（入江）あずさ、池田 毅、梅原 真、畝野裕司、小原 司、
信藤洋二、藤田 隆）

議事の経過

定款第31条(議長)により伊藤理事長を議長に選出し、議長は直ちに本日理事会出席者19名を確認、定款第32条(決議)による出席者が過半数に達していることを確認し、定款第34条により議事録署名人が伊藤透理事長、井上聡副理事長、時田秀久監事の3氏であることを確認し、議事に入る。

※ゴシックは承認事項

第1号議案 新入会員入会審査の件

本日の理事会までに、法人2社、個人4人から入会申込みがあり、定款6条（会員資格の取得）並びに会員規定に基づき入会審査を行い、下記の入会を承認した。

(1) 法人会員（2社）

<東日本>

1. TANK株式会社【推薦者：新谷 秀実（(株)圖庵）】
2. 株式会社 味の素コミュニケーションズ【推薦者：小原 司】

(2) 個人会員（4人）

<東日本>

1. 角野 真耶（すみの まや）【推薦者：古賀 龍平（(株)デザインバス）】
2. 岩根 瑞樹（いわね みずき）【推薦者：古賀 龍平（(株)デザインバス）】
3. 原田 アンリ（はらだ あんり）【推薦者：新鞍 一裕（(株)コーサー）】

<西日本>

4. 折口 将司（おりぐち まさし）【推薦者：中村 拓哉】

第2号議案 退会承認の件

本日の理事会までに退会届けを提出した下記の法人会員3社、個人会員1人の退会を承認した。

(1) 法人会員 (3社)

<東日本>

1. 株式会社モリサワ【令和2年1月末退会希望】
(業務上の都合により)
2. DICグラフィックス株式会社【令和2年4月末退会希望】
(DICグループとして窓口をDICカラーデザイン(株)に統一するため)
3. 株式会社ハウラー【令和2年11月末退会希望】
(関連事業が減少しているため)

(2) 個人会員 (1人)

<東日本>

1. 井口 佳己 (いぐち よしみ)【令和2年2月末退会希望】
(株)コーサーを退職するため)

第3号議案 後援の取り消し提案について

森理事より、4/1~3、ビッグサイトで開催予定の展示会「コンテンツ東京」(主催:リード エグジビジョン ジャパン) への後援取り消しの提案がありましたが、主催者が新型コロナウイルスの感染を懸念し、2020年10月に延期するとの結論を持ったので、今回の理事会では議案から割愛した。

第4号議案 正副理事長報告

伊藤理事長、井上副理事長、加藤専務理事より、現状の活動状況について以下の報告があった。

- | | | |
|---------|--------|---|
| 伊藤理事長報告 | ・ 1/31 | JPC審査会 (日本印刷会館) |
| | ・ 2/5 | D-8運営会議 |
| | ・ 2/12 | 香港貿易発展局交流昼食会 (赤坂プリンスホテル旧館)
60周年企画展打合せ |
| | ・ 2/19 | 次(2020)年度予算打合せ |
| | ・ 2/20 | 東京国立博物館 井上副館長面会 (60周年企画展)
東日本合同委員会 (APD関連) 打合せ |
| | ・ 2/21 | APDトロフィー制作打合せ |

- ・ 2/26 パッケージデザイン学校打合せ
- ・ 3/11 APD内容委員会 JPDA定例理事会
- 井上副理事長報告
- ・ 2/4 西日本委員会
- ・ 2/10 ASPaC大阪展オープニング
西日本新年交流会（大阪 平和紙業）
- ・ 2/28 西日本委員会
- ・ 3/11 APD内容委員会 定例理事会
- ・ 3/28 西日本委員会委員会
- 加藤専務理事報告
- ・ 1/31 JPC審査会（日本印刷会館）
- ・ 2/4 出版委員会（京橋サントリー）
- ・ 2/12 60周年企画展打合せ（京橋サントリー）
- ・ 2/20 東京国立博物館 井上副館長面会（60周年企画展）
- ・ 3/11 APD内容委員会 JPDA定例理事会

第5号議案 令和2年度事業計画・予算(案)の承認について（最終報告）

渡邊事務局長より、資料に基づき次年度事業計画(案)・収支予算(案)についての提案があり、内容通り承認された。

<事業計画(案)についてのポイント>

●60周年記念事業（公益事業）

① 日本パッケージデザイン大賞2021

2020年3/2～4/3を応募期間とし、5月の一次審査、7月の二次審査を経て、13のカテゴリー毎に金・銀・銅の入賞作品と特別審査員賞を選び、金賞の中から大賞1作品を選出する、パッケージデザインのコンペティション。1985年から隔年の開催で19回目となる今回は初めての画像審査（一次審査）にチャレンジする。贈賞式は2021年1月の予定。贈賞式終了後に4カ所で入賞作品の巡回展を開催する予定。

② 『パッケージデザインインデックス2020 Our Best Works』

会員・非会員を問わず日本を代表する企業・デザイナーの1907年から現在までの代表作品を掲載した443ページのベストワーク集。合わせて現代日本を代表する多彩な方々からの寄稿文も掲載の予定。2020年5月の発刊に向けて編集が進行中。

③ 「JPDAパッケージデザインの学校」

6/8～7/17の間の6日間、DICの会議室で開校する予定。デザイナーの力を120%引き出し、強いブランドを作る発注者になるためのいままでにない新しいパッケージデザインの学校。現在パンフレットを作成し申込み予約を受付中。

④ 60周年企画展「日本のパッケージ『縄文と弥生のデザイン遺伝子』複雑とシンプル」

8/1～10/4に印刷博物館P&Pギャラリーにおいて開催予定。日本のパッケージデザインは縄文(複雑美)と弥生(単純美)の相反する美意識から生まれるという仮説のもと、その多様性を紹介する展覧会。

⑤ 第3回創作展「みらいパッケージ展」

2016年、2018年に続く3回目で今回がシリーズの最後となる。60周年記念として、3回の創作展に出品した作品を纏めた書籍を発刊する予定。

今回は「2020年になった今、わたしたちはどんな「みらい」を願っているだろう」というコンセプトで、未知の可能性をパッケージに込めた創作展。9/10～9/22：渋谷ヒカリエ8/CUBE、11/4～11/15：奈良公園バスターミナルで開催する予定。

⑥ アジアパッケージデザイン会議(APD) in 奈良

60周年記念最大のイベント。11/13に奈良春日野国際フォーラム「甍：いらか」に韓国・上海・台湾・タイの4カ国・地域のパッケージデザイン関係者を招き、日本も含めたAPDを開催(隔年で、開催地は参加国持回り。各国が持ち寄った作品の展覧会も同時開催)する。今回はJPDA60周年ということで、国内のJPDAデザイン会議も同じ会場で同時開催し、アジアと日本のパッケージのトレンドについての情報交換を行う。日本からの特別講演者はウサビ・サコ氏(京都精華大学 学長)と佐藤 卓氏(JAGDA 会長)の2名を予定している。

⑦ 中日本(愛知・岐阜地区)での展覧会開催

しばらく活動していなかった、中日本(愛知・岐阜)地区において、JPDAの代表的な事業である、日本パッケージデザイン大賞をフィーチャーした展覧会を2020年12月～2021年3月の間に名古屋において開催することを検討する。

⑧ 広報誌

2021年2～3月に発刊予定の広報誌『JPDA MAGAZINE』は上記の60周年記念事業の結果報告を纏めた特集号にする予定。

●60周年以外の主な公益事業

- ・新型コロナウイルス感染防止のため、延期となった東日本トークカフェ、調査研究の第3回研究発表会の開催。
- ・今年度開催して評判のよかったアーカイブ委員会、教育委員会の同種セミナーを継続。
- ・2019年のサイトリニューアルを踏まえた、SNS活用による情報発信力の強化。(インターネット委員会)
- ・東京、大阪での新年デザイン交換会の開催。

- 収益事業はこれまでと同様、国内のアスパック(アジア学生パッケージデザイン交流プロジェクト)イベントの企画・運営の業務委託を受け持つ。

<収支予算(案)についてのポイント>

- ・公益事業会計(60周年事業積立金:1,800万円の取崩含む)、収益事業会計、法人会計を併せた協会全体の経常収益合計は91,715,400円。また、3つの会計の経常費用合計は91,668,900円となり、当期の経常増減額は46,500円となる。
因みに、経常費用の公益比率は72.5%、
- ・60周年事業積立金1,800万円の用途は、アジアパッケージデザイン会議(1,290万円)、中日本での展覧会(150万円)、JPDA大賞巡回展(90万円)、企画展(90万円)、創作展(80万円)、広報誌作成(100万円)となっている。
- ・経常外増減額は取崩金も含めて-18,500,000円、一般正味財産増減額は-18,453,500円、一般正味財産財産期末残高は20,965,220円となる。

第6号議案 事務局報告

渡邊事務局長より、資料に基づき、以下の事務局報告があった。

1. 次年度予算(案)、本年度の決算報告、通常総会等のスケジュール
 - ・3月11日(水) : **定例理事会**で、令和2年度の事業計画・収支予算(案)を承認
 - ・3月末まで : 内閣府への令和2年度の事業計画(案)・収支予算(案)報告
 - ・4月8日(水) : 令和元年度収支決算監査
 - ・4月15日(水) : **臨時理事会**で、令和元年度の事業活動実績・収支決算報告を承認、通常総会の開催を決議
 - ・5月29日(金) : **通常総会**
 - ・6月上旬 : 法務局への新役員登記
 - ・6月下旬 : 内閣府への令和元年度事業活動実績・収支決算の報告
2. コンペ審査員選挙結果(得票順位、得票数)公表の依頼について
 - ・東日本個人会員から検討を依頼された「JPDA大賞の審査員選挙の結果を、いままでの順位だけでなく、得票数も公表してほしい」という件について、過去の経緯も含めて理事会出席者から意見を聞いたが、結論として、公表しない理由が今ひとつ明確ではないため、次回のコンペ(2023)以降は公表を前提として進めることとする。
 - ・現在進行中の2021についてはすでに審査員当選者に就任の受諾を確認しているときでもあり、問い合わせに対しては答えるものの、全体の結果を公表することはしない。
 - ・また、次回の公表の時期・発表の仕方についてはコンペティション委員会で具体的な内容を検討してもらうこととする。
3. 60周年事業全般のチラシ作成について
 - ・4月より広く配布できるよう、現在事務局で進めている60周年記念事業の紹介チラシのデザイン案について、出席の役員からいろいろなお意見をいただいたが、伊藤理事長の指示で、山崎理事監修のもと事務局で作成を進めることとなった。

4. 今後の理事会・総会スケジュール（毎理事会で案内）
5. その他報告事項
 - (1) 内閣府からの「新型コロナウイルス」関連の会員への周知協力依頼、JPDAのイベント開催の有無（2月の東日本トークカフェと3月の西日本勉強会は延期、4月の知財塾はもう少し様子を見てから決定）、他のD-8所属のデザイン協会の動向についての報告。
 - (2) 次年度の代表役員及び各理事の担当委員会は総会後の臨時理事会で決定する。
 - (3) 2/18(火)～2/21(金)に幕張メッセ国際展示場で開催された展示会「オリジナル商品開発WEEK」の結果報告。新型コロナウイルスの影響で来場者は前年の約60%であった。
 - (4) 月刊誌「ブレン」での調査研究委員会担当理事、日本包装専士会・島田氏、橋本氏への取材記事の紹介。
 - (5) (株)公募ガイド社から、JPDA創作展「みらいパッケージ展」の応募内容の掲載依頼があった。

第7号議案 委員会報告（●は資料あり）

<承認事項>（6件）

● **アーカイブ事業の推進と第1回アーカイブ展&セミナー開催の収支報告**

- ・急遽欠席された青木（入江）理事に代わり、渡邊事務局長よりアーカイブ委員会の収支報告があり、以下の収支報告が承認された。

公益会計：収入 248,600円、支出：1,519,364円、協会補助：1,237,480円、

収支差額：△33,284円

● **「日本パッケージデザイン大賞2021」開催準備についての収支報告**

- ・竹内理事より、2020年3/2に応募をスタートする「日本パッケージデザイン大賞2021」についての収支報告があり、以下の収支報告が承認された。

公益会計：収入：0円、支出：25,350円、協会補助：42,000円、

収支差額：+16,650円

● **「2020 新年デザイン交換会・賀詞交換会」の活動報告・収支報告**

竹内理事より、2020年1月28日(火)に日比谷のレストランアラスカで開催された「新年デザイン交換会」についての報告があった。

- ・第一部は書道家の中澤希水氏による講演とライブによる実演。

（参加者は116名：会員108名、非会員3名、招待5名）

- ・第二部は井上副理事長と奈良のゆるキャラ「せんとくん」によるAPD in NARAの告知のあと、伊藤理事長による挨拶に始まる新年賀詞交換会。

（出席者は178名：会員164名、新入会員4名、非会員3名、招待7名）

・引き続き以下の収支報告が承認された。

公益会計：収入：183,150円、支出：174,521円、協会補助：100,000円、
収支差額：+108,629円

法人会計：収入：929,500円、支出：929,500円、協会補助：0円、
収支差額：0円

● 西日本賀詞交換会、西日本勉強会「あえる Vol.4」の活動報告・収支報告

三原理事より、2020/2/10(土)平和紙業ペーパーボイスでの「アスパック大阪展 成果報告イベント」のあと、南船場のイタリアンレストラン ローザ・ロッチェで開催された「西日本新年交流会」についての活動報告があった。

・新年交流会には、東京からアスパック協会会長フミ・ササダ氏と国際交流委員の山口隼人氏、また、岡山からアイディーエイ様、さらに5組の西日本の新入会員が参加され、積極的な交流が見られた。(出席者は会員46名)

・同日開催を予定していた「勉強会 あえる Vol.4」については新型コロナウイルス

対
策のため、2021年6月に延期することとなったが、会場のキャンセル料が発生したので、そのみを支出に計上しているとのこと。

なお、今後、勉強会では法人アピールタイムを設ける予定。

・引き続き以下の収支報告が承認された。

公益会計：収入：0円、支出：51,800円、協会補助：125,000円、
収支差額：+73,200円

※理事会終了後、コロナ関連のキャンセルについては後日返金されるとの連絡があったので、4月に修正報告の予定。

法人会計：収入：252,000円、支出：297,475円、協会補助：0円、
収支差額：△45,475円

渡邊事務局長より以下3件の収支報告があり、以下の収支報告が承認された。

●JPDA大賞巡回展の収支報告

※予算立案時には予定していた代官山蔦屋での開催が取りやめとなったため、支出が大きく内輪で終了した。

公益会計：収入：0円、支出：260,954円、協会補助：630,000円、
収支差額：+369,046円

●アスパック顕彰の収支報告 (JPDA賞の顕彰)

公益会計：収入：0円、支出：300,000円、協会補助：300,000円、収支差額：0円

●JPDA60周年記念事業準備＋国内交流（主にAPD in NARAの準備）の収支報告

公益会計：収入：0円、支出：764,972円、協会補助：818,000円、

収支差額：+53,028円

<報告事項>

○インターネット

中越理事より資料に基づき以下の報告があった。

- ・日本パッケージデザイン大賞2021の募集案内、調査研究【情報の森】ニュース、経産省からの周知依頼（1～3月に新規・追加を含め全10件）等、サイト更新状況の報告。
- ・終了済のイベントでレポートが未掲載のもの。（2018年度：3件、2019年度：7件）
- ・事務局から複数のアドレス宛てメールが送信エラーとなっていること。

⇒リスク低減を図るため、現在の「さくらインターネット社」の共有レンタルサーバーから、専用サーバーへの変更を検討中。現在進めているサイトリニューアルを機に新サイトを専用サーバー内に構築する予定。（費用増額相当分は制作費を抑制）

○デザイン保護

高田理事より資料に基づき以下の報告があった。

- ・2月の第2回JPDA知財塾では、「コンセプト開発」→「デザインの具体化」→「製品化」の制作過程の中で、どこで、どのような知的財産の権利が発生するのか、その留意点を解説するとともに、2020年4月に施行される【改正意匠法】についての紹介を行った。（詳細はJPDA HPの委員会レポートページを参照）

■日 程：2月4日（火） 15:00～17:30

■会 場：東洋インキSCHD株式会社 大会議室

■講 師：永芳 太郎弁理士（みずの永芳特許事務所 所長）

■参加者：13名（法人会員/9名、個人会員/2名、一般/2名）

- ・4/7（火）に予定している第3回については、新型コロナウイルスの状況を見て開催の是非を決めたいとのこと。
- ・講師派遣の依頼があった「JAGDA知財権セミナー」は、3月6日の開催を延期する旨の連絡があった。

○アスパック関連

江藤理事より、日本地図を提示して、2020アスパック説明会・セミナー・ワークショップの国内開催予定校についての報告があった。

- ・東日本（江藤理事）と西日本（三原理事）で手分けして実施している。現時点では、東はほぼ昨年と同規模になる予定で、担当講師の幅を広げたいと考えているが、西は新型コロナウイルスの影響もあり、日程調整が難しいところもあるので、昨年より若干減るかもしれないとのこと。

○60周年創作展

牛島理事より、1月の理事会で承認いただいた60周年記念本（3回の創作展出品作品を掲載）の進捗状況について報告があった。

- ・ A5サイズ250ページ、販売価格2,000円で1,000部を制作する予定。掲載者への献本、東京・奈良2会場での販売に加え、山崎理事から紹介のあった六耀社が一般書店で500部の委託販売を検討していただけるとのお話しをいただいている。
- ・ 収入は掲載料、広告費の985,000円、支出はデザイン制作費、印刷製本費等で1,725,000円が見込まれ、740,000円ほどの出超になるが、積立金の拠出800,000円で賄えると考えている。
- ・ 公募サイトでの掲載が予定されているが、会員からの早めの申込みをお願いしたい。

○広報誌

中森理事より、3月発刊の『JPDA MAGAZINE Vol.4』についての案内があった。

（表紙と主な記事は抜粋資料を参照）

○調査研究

中越理事より、口頭で、3/17(火)に予定していた第3回研究発表会を延期したとの報告があった。

○60周年企画本 (Package Design Index 「Our Best Works」)

山崎理事より、口頭で、5月の発刊に向け順調に進んでいるとの報告があった。

○60周年企画展

加藤専務理事より、口頭で、候補作品とその意味について再度整理している状況であるとの報告があった。

○60周年JPDA大賞

竹内理事より、口頭で、予定通り3/2から応募を開始したという報告があった。

○60周年パッケージデザインの学校

小川(亮)理事より、スライドにより、6月から開校予定のパッケージデザインの学校についての報告があった。

- ・ 現時点での申込みは仮予約も含めて30名。次週から日本マーケティング協会が会員3,000名にメルマガでの案内を、また、4月に会員への郵送物にパンフレットを同封していただけることになっているので、あと10名程度は増えると期待している。
- ・ 今、小川(裕)理事が参加者の会員証と終了証書の制作を進めてくれている。

○60周年 APD in NARA

井上副理事長より、口頭で、午前中のAPD内容委員会の結果を踏まえて以下の報告があった。

- ・ 4月中旬にパンフレット・チラシ等のデザインができる予定。

- ・APDの展覧会を、より長期間見ることができるように、同時期に奈良バスターミナルで開催予定(11/4～11/15：12日間)の創作展の日程を遅らせることを検討していく。
⇒いままでの計画では、APD展は11/12～14の3日間程度で終わってしまうが、11/4～に予定している創作展のスタートを11/12～にずらして、APD展を同じ日程にすることにより、APD展をより長期間見ることができるようになる。

第8号議案 次回臨時理事会開催の件

伊藤理事長より、次回の理事会開催について以下の案内があった。

日時：令和2年4月15日(水) 午後1時30分～5時30分※

場所：文京シビックセンター(区民会議室) 5階 会議室 A

東京メトロ丸ノ内線・南北線「後樂園」駅前

主な議題：通常の理事会議案、令和元年度活動報告・決算報告(承認事項)

以上